

# 問 魅力ある農政の具体策は

答 人と農地の問題解決に取り組む



公明党 植木 伸寿 議員

**議員** 今後どのように農政を進めるのか。また「とうかい育ちシール」の経緯についても伺う。

**農業委員会事務局長**

この夏、14の集落で農業座談会を開催。担い手の確保や農地集積等の課題を共有した。これらを踏まえ5年後を見据えた農地利用に関する意識調査を実施し、関係者が情報を共有しながら、農地利用の最適化を推進する。

**建設農政部長** 「とう

かい育ちシール」は、村民の皆さんに東海村産農産物を知ってもらうことを目的とした取り組み。一定の要件を満たした新鮮野菜等に貼ることが可能。今後、効果を検証し地産地消の更なる拡大に役立てたい。

**議員** 優良農地を守るために農地集積は重要



東海村産の新鮮野菜

であるが、農地中間管理事業の実績はどうか。また、農業経営の安定化への取り組みは進んでいるのか。

**建設農政部長** 実績はまだ少なく、農地の借り手を増やすために、規模拡大の支援や新規就農者の確保に取り組んでいる。また、特産品開発や6次産業化等により、農産物の付加価値を高めていく。

# 問 総合管理計画の意味する物とは

答 次世代への投資的経費計画を構築

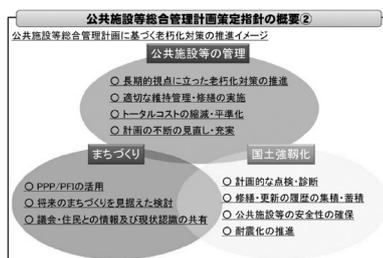


新政とうかい 武部 慎一 議員

**議員** 総合管理計画

は、個別施設の更新時期や広域化の必要性、スクラップ&ビルド等を組み込んだ個別施設長寿命化計画を基本データとして、検討すべきもの。より確かな詳細な個別計画が、不透明な状態での計画から、何が課題として読み取れるのか、緊急の課題は何か、どの事業が優先されるのか。多くの課題もすべて平準化されたものが、どの程度信頼性があるのか。国への報告書の形態を整えるだけでなく、より確かな個別施設のカルテを構築した上で、より確かな東海村総合管理計画を構築することが必要ではないか。

**総務部長** 総合管理計画は、将来的な投資的経費を算出し、予防保全型の維持管理と長寿



公共施設等総合管理計画策定指針の概要 (総務省報道資料・総財務第74号別添2 (H26.04.22)より抜粋)